

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年03月30日

計画の名称	五郎丸・高雄地区における浸水対策の推進（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	犬山市,扶桑町												
計画の目標	集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、流域が一体となって総合的な浸水対策を実施することにより、水害に強い都市を作るとともに、安心安全な住民生活の確保を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,470	A	1,470	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	橋中雨水幹線及び木津第二雨水幹線の整備を完了させる 橋中雨水幹線・木津第二雨水幹線の整備率 雨水幹線整備済み延長（m）／雨水幹線延長（m）	0%	44%	100%
2	橋中排水区及び木津第二排水区の都市浸水対策達成率を向上させる 橋中排水区・木津第二排水区の都市浸水対策達成率 都市浸水対策済み面積（ha）／都市浸水対策の必要な面積（ha）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	犬山市	直接	犬山市	管渠(雨水)	新設	橋中雨水幹線整備事業	L=1,040m	犬山市						750	-		
	A07-002	下水道	一般	犬山市	直接	犬山市、扶桑町	管渠(雨水)	新設	橋中・木津第二雨水幹線整備事業	L=445m	犬山市、扶桑町						560	-		
	A07-003	下水道	一般	扶桑町	直接	犬山市、扶桑町	管渠(雨水)	新設	橋中・木津第二雨水幹線整備事業	L=445m	犬山市、扶桑町						160	-		
												小計						1,470		
												合計							1,470	

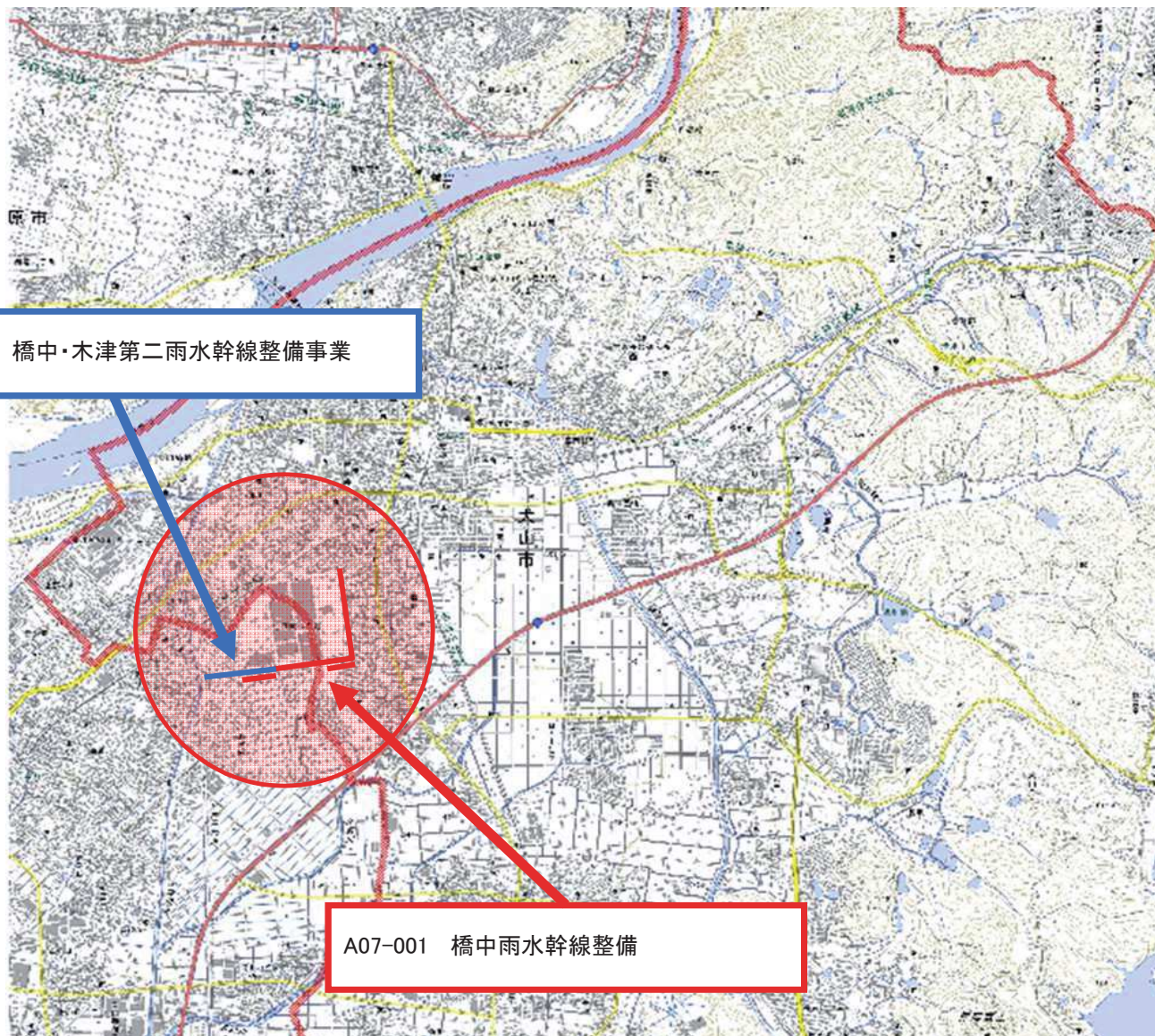
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	
配分額 (a)	65	112	156	180	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	65	112	156	180	
前年度からの繰越額 (d)	0	60	12	37	
支払済額 (e)	5	160	131	113	
翌年度繰越額 (f)	60	12	37	104	
うち未契約繰越額(g)	60	0	15	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	92.3	0	8.92	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	事業の進捗を図る目的で、年度末に補正予算による追加配分を受けたため。				

(様式3) 参考図面

計画の名称	五郎丸・高雄地区における浸水対策の推進（防災・安全）（重点計画）		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）	交付対象	犬山市・扶桑町



A07-002,A07-003 橋中・木津第二雨水幹線整備事業

A07-001 橋中雨水幹線整備

凡 例	
●	事業箇所

事前評価チェックシート

計画の名称： 五郎丸・高雄地区における浸水対策の推進（防災・安全）（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画と適合している。上位計画（社会資本整備重点計画、新川流域水害対策計画）	○
I. 目標の妥当性 2) 犬山市公共下水道事業計画、扶桑町公共下水道事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 3) 関連する他事業の計画と適合している。関連する他事業（五条川右岸流域下水道事業）	○
I. 目標の妥当性 4) 各種事業計画が策定され、適合している。	
I. 目標の妥当性 5) 各種法令（都市計画法、下水道法等）を遵守している。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 地域の課題と整備計画の目的の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 ①整備計画の目標と定量式指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ②事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性
①円滑な事業執行の環境

III. 計画の実現可能性
1) 長期的収支計画の見通しが健全と判断される。

○

III. 計画の実現可能性
2) 関係機関との協議、住民等の合意形成等を踏まえて事業実施の確実性が高い。

○

III. 計画の実現可能性
3) その他、事業実施のための環境整備が図られている。

○